出産される時の年齢が 40 歳以上の方へ

染色体疾患を持つ児の妊娠率は，妊婦さんの加齢に伴い上昇していくと言われています。そのため当院では出産時の年齢が 40 歳を超える方に出生前診断として以下の検査をアナウンスしております。

① 出生前遺伝学的検査（non－invasive　prenata1　genetic　testing；以下 NIPT）
② 羊水検査
③ 絨毛検査

※NIPT は非確定的検査です。絨毛検査・羊水検査は確定的検査です。

① 出生前遺伝学的検査（non－invasive　prenata1　genetic　testing；NIPT）（採血で可）

・対象となる疾患
13 トリソミー、18 トリソミー、ダウン症（21 トリソミー）
・検査方法
妊婦さんから採血をし、血液のなかにある微量の DNA 断片を分析することで胎児に特定の染色体異常がないかどうかを検査できます。
・検査を受ける時期：　**妊娠 10 週以降。**
検査結果により絨毛検査・羊水検査を検討する場合もあるため 12 週までに受けることが推奨されます。
・検査結果がでるまでの所要日数：　**2 週間ほど**
・検査費用：　**当院では 10 万円（施設によって異なります）**※検査可能施設が限られています。
・検査費用とは別にカウンセリング料金がかかります。（1 回目　11,000 円、2 回目以降 5,500 円）

② 羊水検査（確定診断）

・対象となる疾患
全ての常染色体の数の異常（13 トリソミー、18 トリソミー、ダウン症：21 トリソミーなど）
性染色体の数の異常（ターナー症候群、クラインフェルター症候群）
・検査方法
腹部超音波で胎児の状態を確認し、下腹部から子宮空内に針を刺し直接羊水を採取します。
子宮内に針を刺すため子宮収縮抑制剤・抗生剤の処方をします。
・リスク
約 0.1%の確率で感染症や子宮収縮による破水、流産・早産、胎児のケガやウイルス感染などが起こることがあります
・検査時期：　**15 週～出生前まで可能。16～18 週で行う施設が多いです。**
・検査結果がでるまでの所要日数：　**約 2 週間程度**
・検査費用：　**当院では 10 万円程度（施設によって異なります）**

③ 絨毛検査（CVS）（確定診断）

・対象となる疾患

全ての常染色体の数の異常（13 トリソミー、18 トリソミー、ダウン症：21 トリソミーなど）

・検査方法（3 種類の検査項目があります。）

超音波検査で胎盤(絨毛)の位置を確認しながら、子宮頸部からカテーテルを挿入、もしくは腹壁に針を挿入して絨毛を採取し、採取した胎児の細胞を培養して染色体の数や構造を調べる検査です。

・リスク

約 2%で赤ちゃんに異常はなくても、絨毛に異常がみつかる場合があります。

出血、腹痛、羊水の流出、感染、また流産の可能性があります。

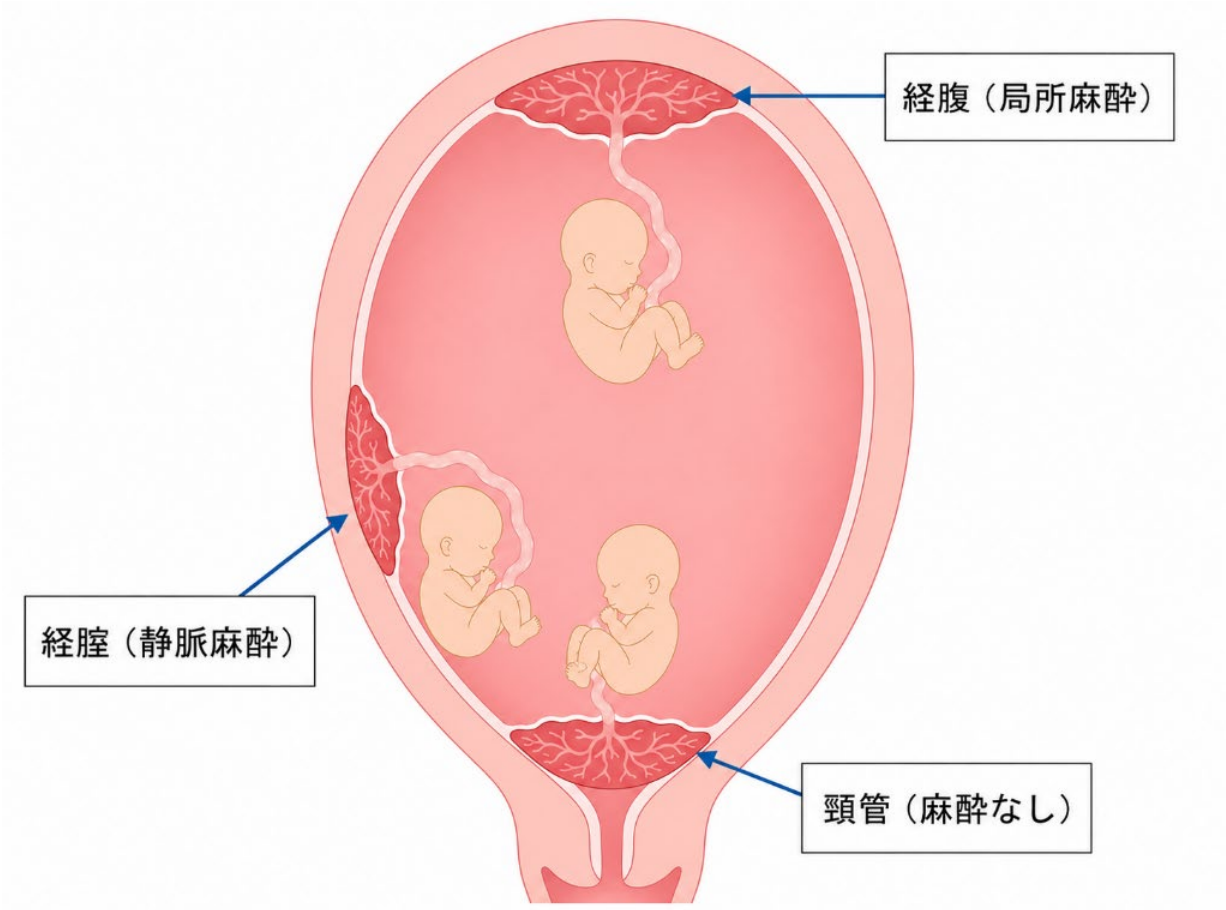
・検査時期：　**妊娠 10 週～14 週まで**

・検査結果がでるまでの所要日数：　**全ての結果が揃うまでに約 2 週間前後**

・検査費用：　**当院では 20 万～25 万円（税別）（施設によって異なります）**

※入院の場合、入院費は別途必要　（1 泊　10,000 円：税別）

※多胎の場合は検査件数×20 万～25 万円（税別）となります。



	NIPT	羊水検査	絨毛検査
対象疾患	21 トリソミー 18 トリソミー 13 トリソミー	全ての 染色体の異常	全ての 染色体の異常
検査時期	妊娠 10 週以降	妊娠 16 週以降	妊娠 10~12 週
メリット	採血でできる (胎児への侵襲がない)	確定診断になる	確定診断になる
デメリット	・絨毛・羊水検査に 移行する可能性がある ・検査可能施設が 限られている	流産の可能性 (ほとんどなし)	流産の可能性 (約 1%)
金額	10 万円 (施設により差があり)	当院では 約 10 万円程度 (双子の場合) 約 18 万円程度	当院では 20 万～25 万円 (税別) (双子の場合) 40 万～50 万円 (税別)